

## 地形図を使った身近な地域の学習 ～生徒の住む市の地形図を使って～

山形県天童市立第三中学校 武田喜美男



### 1 生徒の住む市の地形図を作成し教材とする

本市にはこれまで中学生の教材用の地形図というものがなかった。国土地理院のそれを使うと4枚を合わせる必要があった。

そこで2年前に市教委の援助を得て本市の2万5千分の1の地形図（資料Ⅰ）を作成し、市内の中学生が使えるようになった。社会科の教材とし

てはいうまでもなく、未来を担う人間として中学生のときに自分の住む市の地形図を使って学習する意義はきわめて大きい。地域を知ることだけでなく好きなることにも結びつくはずである。

### 2 地形図で楽しく学ぶために

#### (1) 生徒の興味・関心を重視した指導計画にする

友だちの住む地域に行ってみようという気持ちを大事したいということである。

本校の生徒は四つの小学校（地域）から入学してくる。当然他の

小学校や地域に対する興味関心は高い。入学後学区探検と称して他の地域を見て回ることも行っており、その気持ちをさらに強くしている。本単元ではその思いを社会科の学習を通してかなえていくということを意識して計画した。

#### (2) 最後にまとめるレポートのテーマや書式等を最初に学習し、生徒に単元全体の見通しをもたせる

資料Ⅰ 『天童市全図』より（編集：天童市教育委員会、印刷：帝国書院）



資料Ⅱ 『天童市全図』を使った「身近な地域①」の指導計画・評価の観点

	関心・意欲・態度	社会的思考・判断	資料活用能力	知識・理解
1	・自分の家や学校、他の地域等を興味をもって探している。	・地域観察レポートを作成するために必要なことを考えることができる。	・地形図中に、自分の家や学校、学区内の四つの地域を見つけることができる。	・他の地域の位置や本市周辺にある市町の位置や名称がわかる。 ・この単元の学習と地域観察レポートのつながりがわかる。
2	・他の地域の実際の建物等や土地利用のようすをイメージしながら学習を進めることができる。	・地図記号から土地利用のようすや他の地域の特徴等が判断できる。	・自分の家と学校や他の地域との位置関係がわかる。	・八方位がわかり、具体的に使うことができる。 ・おもな地図記号の意味がわかる。
3	・自分の知っている舞鶴山と等高線で示された舞鶴山を重ねながら学習を進めることができる。	・等高線の間隔から舞鶴山の大きな傾斜が判断できる。	・自分の家から行ってみたい地域や場所までの実際の距離を求めることができる。 ・三角点、水準点の位置がわかる。	・縮尺の意味がわかる。 ・等高線や三角点、水準点の意味がわかる。
4	・自分のテーマを徐々に焦点化しながら、地域観察計画を立てることができる。	・自分の興味や関心に応じて観察レポートのテーマを設定することができる。	・地形図を適切に活用して観察ルートや時間設定をすることができる。	・既習事項を使って自分のテーマに沿った適切な観察計画を立てることができる。
5	・安全に配慮しながら自転車でねらいに沿って計画したルートを意欲的にめぐっている。	・計画と実際の違いを大事にし、場面に応じた判断を重ねて観察を継続できる。	・地形図を適切に活用して計画したルートを回ることができる。	・観察の実際と実施の記録をまとめることができる。

この單元では地形図に関する基本的な学習（方位、地図記号、縮尺など）を行う。その際、各々の学習が具体的な目的をもって行われるように単位時間を配列した。（資料Ⅱ）

（3）レポート作成の指導はていねいに、テーマ設定等は小学校の学習を踏まえて（資料Ⅲ）

本校では地理的分野で3回のレポート作成を計画しており、今回が1回目となる。最初だからこそ方位を入れる、土地利用を示す、時刻と場所を明示する、総移動距離を求めるなど具体的にていねいに指導した。また今回は様式と書き方を示すだけでなく、教師がレポートの実例も示してみた。

テーマ設定では、小学校の中学年で市独自の副読本を使い本市の産業等の調査を行っていることを踏まえ、地域の史蹟や建物等と水準点等を確認するためのルートマップ作成とした。

なお、実際に生徒が地形図を持って地域観察を行うのは休日の土日としたが、テーマを同じにする友人同士で回ることも可能としたため、無事に行うことができた。（資料Ⅳは生徒のレポートの実例）

（4）2人の教師で指導援助する

生徒個々の活動を多く設定できる單元なのでできるだけ2人の社会科教師で授業を行った。生徒が意欲をもって取り組む單元ほど疑問も多い。それに応じてやりたい。

また「覚えること＝社会科」というイメージをもっている生徒に教科の面白さを実感させたいというねらいもあった。

教師の側からいえばそれによって指導と評価の一体化を図ることが一層可能となった。特に上記（1）～（3）について学校として指導計画を見直したりすることも効果的に実施できた。

資料Ⅲ 社会科学習プリント

社会科 学習プリント 1年地理的分野 №13

地域観察レポート（様式） B4版 縦置き 横書き

規模に応じた調査Ⅰ - 身近な地域① -

☆☆☆ これから勉強で身につける力は・・・ ☆☆☆

自分のテーマを持って身近な地域を観べ、結果をまとめることができる。  
 方位・縮尺・等高線・地図記号などの基本的な技能を生かして、地形図を活用して身近な地域の調査に役立てることができる。

実際に外に出て調査します。安全に、元気に取り組もう！  
 地形図を活用する基本的な知識や技能は確実に！！

具体的な活動として、天童市の地形図（オリジナルだぞ～）を使って・・・

地形図に親しむ  
地形図の見方使い方を教える

観察計画を立てる

計画を実践する

観察記録をまとめる

右の様式で「立案→実践→まとめ」を行う

☆☆ では、手始めに“地形図”で遊ぼう！

- ① [自分の家]を見つけてよう！・・・赤○印
- ② [天童三中]を見つけてよう・・・地図記号「文」に赤○印
- ③ 天童三中学区の各地域名を見つけて、鉛筆で○印  
 藤野目 高野辺 蔵増 矢野目 小矢野目 坂野目  
 藤内新田 寺津 高瀬 芳賀 中里 長岡 清池
- ④ 地形図の右枠外を見て、山形県の中での天童市の位置を確認しよう。  
 ア 天童市の形を赤でなぞってみよう。  
 イ 天童市に隣接する市町村の名前を確認しよう。

市 市 市 町 町

テーマ ○○○○・・・

1年 ○組 ○番  
氏名 ○ ○ ○ ○

観 察 計 画			
予定日時	平成14年10月○日(○)	○校時	時間
観 察 ル ー ト	9:40	S	[天童三中] 出発
	9:50	①	.....
	10:10		.....
	10:15	②	水準点(□)発見 海拔高度は○〇m
	10:25	③	.....
	10:35		.....
	10:40	G	[天童三中] 到着
移動距離：約○〇km			

観 察 の 実 際			
実施日時	平成14年10月○日(○)	○校時	天気 ○○
観察実施の記録			観察点：時間 有無
「観察してわかったこと」 「観察したスケッチ」 「観察して疑問に思ったこと」 などなど			S 9:40
			① 9:50 ◎
			② 10:15 ◎
			③ - △
			G 10:35
感想	.....		
	.....		

テーマ 寺津と高橋 神社めぐり 氏名 1年 5組 番

予定日時	平成 14年 11月 16日 (土曜日)	時間	観察地点
観察ルート		12:30	S 自宅
		12:45	① 三角点 98.7m スクツしてしま!!
		1:45	② 願正権 家の影が少ないが実際本当に少ないのか??
		2:10	③
		2:20	④
		2:30	⑤ 神社。どんぶ神がまつられているのだらう??
		2:40	⑥
		3:00	⑦
		3:15	⑧
		3:40	G 自宅
観察の実際		観察実施の記録	
実施日時	平成 14年 11月 16日 (土曜日)	天気	
<p>★三角点★ コンクリートの中にうまっている。ウチの石が割れてある。周りにこんどはの石は3つ、その2つ分は石。</p>		<p>①は 深山神社 この神社は4月29日、みどりの日が家内。250坪以上の木もあるらしい。モテウ首があらたに11-18。深山神社は 永平寺 (1508) 9月19日に建てたと書いてあった。</p>	
<p>★原正権★ 家が17.8坪か、たて木間に10坪か。でも願正権と書かれた。福祉バスがバス停があるらしいよ。</p>		<p>②は 願正権 家の影が少ないが実際本当に少ないのか??</p>	
<p>★共通点★ どの神社にも母屋と書いてあり、大きな建物の、外壁は石の小さな建物の2つがあった。</p>		<p>③は 願正権 家の影が少ないが実際本当に少ないのか??</p>	
<p>☆☆☆ 身近な地域の学習を終えて・・・ 三中学区にも私のしらす川があって広いなあと思った。これからもいろいろなことを調べて、三中学区をもっと知りたい。</p>			

いる。そこでは資料から全国で果樹生産の多い県を確認し、果樹王国としての本県の存在を浮かび上がらせ、それを可能としている自然条件を探ることを一つの課題とした単元構成としている。

その際、当然本市の南北に位置する立谷川扇状地と乱川扇状地を活用することになる。特に後者は帝国書院の地図帳 (p.94) にも図示されており、教材としての価値は高い。

本校の生徒にとってはこの地形図を活用することでさらに実感をともなった学習にできる。本市に広がる扇状地で果樹栽培が盛んなことがわかると、同じ果樹栽培の盛んな長野県や山梨県と同じではないかという予想が立ち、地図帳で確認と検証ができるという流れの授業が可能となる。

本市の地形図が全国の果樹栽培の自然条件を探っていく

学習においても有効に活用できるのである。

### 3 地形図を使いつくす

#### (1) 評価問題もこの地形図を使う

定期テスト等を作成する際、この地形図の一部材料とすることとした。授業中扱えなかった地域を題材に、授業で進めてきた形と同じように設問して生徒に取り組みさせることで、再度本市の別の地域を学習することになり、より適切な評価ができると考えた。また、本市についての理解もさらに深まることもねらっている。

#### (2) 次の都道府県を扱う単元でも活用する

本校では次の単元で山形県の農業を題材にして

### 4 まとめに

身近な地域の学習を行う際、生徒の住む地域の地形図を活用できることよきを実感している。生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めさせたり、市規模の地域的特色をとらえる視点や方法の基礎を身につけさせるというねらいに本市の地形図はたいへん効果的である。

今後とも授業実践を重ね、この地形図をさらに有効に生かす授業のあり方を探っていきたい。